

スキルアップ講座週間～2012⑧

医薬品の正しい使い方～薬物乱用防止から～

講師 みよし薬局 薬剤師 高橋正先生

この講座では、1年生全員で薬物について学習しました。特に、薬物乱用防止教室を通して、自分が今後どう生きていったらいいかということまで考えさせられる講座でした。



- 1) 無知であること。
- 2) 知識を習得すること
- 3) 知識を智慧に結びつけること

☆ みなさん
忘れないでね。



感想コーナー

・ 最初の10分間はビデオを見て、驚くことばかりでした。実際に薬物を使ってしまった人のビデオだったので、現実味がありました。乱用という言葉が、医療目的以外で使用する薬物の不正使用だということもよく分かりました。個人の問題だけではなく社会の問題になるのはすごく深刻な問題だと思いました。依存症は心理的、身体的依存から来るものだとことを再確認しました。覚醒剤は1887年に日本で誕生したことに一番驚きました。薬物は体だけでなく人生そのものを壊すので、今日の講座をしっかりと覚えて守っていきたいです。

・ 薬物乱用は今は未成年者に多くなってきているそうです。1回でも手を出してしまうと絶対にやめられなくなってしまうそうです。そして薬物依存症の人たちの回復施設としてダルクというところがあることも知りました。秋田にもあるということを知ってびっくりしました。治療費は国でだしていることも初めて知りました。薬物中毒になるということは国全体に影響するということがわかりました。好奇心で手を出してしまうケースが多いので、断る有紀をしっかり持っていきたいです。

・ 薬物についての話を今回聞いて、自分だけの責任ではないと感じました。スクリーンで見た説明を忘れないようにしたいです。未成年者に多いということなので、自分の周りにそのような人がいたら助けてあげたいと思いました。今日の講座はニュースなどでは聞いたことのないような内容だったので、大変貴重な時間になりました。

・ 個人の害が社会の害になって、それが国家を滅ぼすことになるなんて考えもしませんでした。自分では絶対にやらないと思っていても、少しの気のゆるみや好奇心で手を出してしまって後悔するのはとても怖いことだと思いました。自分の強い意志が大切だということを考えさせられました。

・ 今日の講座で覚醒剤が日本で作られたものだと初めて知りました。戦需目的で使われていたことを知り、とても悲しくなりました。今、日本で薬物乱用に対する取り締まりが強化されているのは、これまで起こった薬物乱用者による殺人事件があったからということも知ることができました。これからも薬物乱用を許すことなく、自分の信念を貫くことを大切にしたいです。